

2024年5月19日（日）

自由論題報告 9:00/9:55-12:30

1. 古代史部会

会場: 研究講義棟 115 教室

◎古代史は自由論題報告・小シンポ1・小シンポ2を一つの会場で行ないます。

- 1) 09:00～09:45 大野普希（京都大学） 司会：周藤芳幸（名古屋大学）
歴史書としてのパウサニ阿斯『ギリシア案内記』—イオニア地方に関する「脱線」を手がかりに
- 2) 09:55～10:40 橋本資久（文部科学省） 司会：栗原麻子（大阪大学）
相互顕彰としての対評議会授冠と、「水平的名誉」

2. 中世史部会

会場: 研究講義棟 109 教室

- 1) 09:00～09:45 阿部晃平（立教大学） 司会：菊地重仁（東京大学）
「余白」に眠る知の宝庫—マルティアヌス・カペッラ『フィロロギアとメルクリウスの結婚』の註釈に見る初期中世における知的実践—
- 2) 09:55～10:40 太田原建（東京外国語大学） 司会：大貫俊夫（東京都立大学）
ザーリア朝後期ザクセンにおける王権と諸侯—ズュップリンゲンブルク伯ロタールのザクセン大公推戴に見る諸侯の権勢戦略
- 3) 10:50～11:35 清野真惟（東京大学） 司会：徳橋曜（富山大学）
イタリア同盟はいかにして更新されたか—リミニ戦争（1468-1470）の勃発と和平の経緯から
- 4) 11:45～12:30 阿部ひろみ（東北大学） 司会：田口正樹（東京大学）
15世紀における帝国都市ニュルンベルク市参事会の外交的使節と書簡—神聖ローマ帝国の政治秩序に関するケーススタディー—

3. 近世史部会

会場: 研究講義棟 113 教室

- 1) 09:55～10:40 神谷貴子（金城学院大学） 司会：田中俊之（金沢大学）
市民のあいだからこぼれ落ちてゆく人びと—中近世スイス・フリブールにおける女性・ユダヤ人・聖職者
- 2) 10:50～11:35 長藤美佑紀（早稲田大学） 司会：齋藤敬之（南山大学）
17世紀初頭帝国都市フランクフルトにおける人の移動と利害集団の変化—フェットミルヒ反乱（1612-14年）に至る過程から
- 3) 11:45～12:30 福田智美（東北大学） 司会：井内太郎（広島大学）
エリザベス1世期の枢密院の開催場所

4. 近世・近代史部会

会場: 研究講義棟 114 教室

- 1) 09:55～10:40 鰐淵秀一（明治大学） 司会：坂下史（東京女子大学）
独立前夜の北米植民地における農業改良と帝国の政治経済学
- 2) 10:50～11:35 貝原伴寛（日本学術振興会） 司会：芹生尚子（東京外国語大学）
革命前夜の「猫裁判」—18世紀フランスのペットとメディア
- 3) 11:45～12:30 堺太智（早稲田大学） 司会：岡本明（広島大学）
ナポレオン帝国によるピエモンテ諸県の統治

5. 近代史部会1

会場:研究講義棟 102 教室

- 1) 09:00～09:45 北澤裕佳（日本女子大学） 司会：前田更子（明治大学）
19世紀中葉における写真の権利と肖像の展開～訴訟から見る被写体の権利の萌芽～
- 2) 09:55～10:40 森田健斗（同志社大学） 司会：村田奈々子（東洋大学）
地中海を渡る『モンテ・クリスト伯爵』—近代オスマン帝国史におけるフランス文化の変奏
- 3) 10:50～11:35 田中佳（徳島大学） 司会：高橋暁生（上智大学）
シャプタル令（1801年）と地方への絵画の送付
- 4) 11:45～12:30 齋藤由佳（獨協大学） 司会：増田都希（慶應義塾大学）
美食批評の誕生と〈味覚〉概念の変容—『美食家年鑑』（1803-1812年）における「食味審査委員会」に着目して—

6. 近代史部会2

会場:研究講義棟 103 教室

- 1) 09:00～09:45 池田登（早稲田大学） 司会：岡部造史（熊本学園大学）【Online】
フランス第二帝政期のパリにおける認可組合の展開
- 2) 09:55～10:40 川分圭子（京都府立大学） 司会：本田毅彦（京都女子大学）
植民地の産業革命—イギリス領カリブにおける製糖技術革新と社会的影響
- 3) 10:50～11:35 板倉孝信（東京都立大学） 司会：岩間俊彦（東京都立大学）
1820～40年代の英国における財相の外交・軍事政策への認識
- 4) 11:45～12:30 矢口啓朗（岡山大学） 司会：池本今日子（大東文化大学）
フランス七月王政の「不干涉原則」とウィーン体制

7. 近代史部会3

会場:研究講義棟 101 教室マルチメディアホール

- 1) 09:00～09:45 工藤准司（早稲田大学） 司会：青島陽子（北海道大学）
19世紀後半ポーランド王国における民衆教育の再検討—農民の回想記などから見える秘密教育の実相
- 2) 09:55～10:40 吉田眞生子（早稲田大学） 司会：池田嘉郎（東京大学）
19世紀フィンランドの「国民」と言語：サカリアス・トペリウスの議論から
- 3) 10:50～11:35 林祐一郎（京都大学）【Online】 司会：西川杉子（東京大学）【Online】
ドイツ・ユグノー協会—第二帝政期における改革派諸教会との関係を中心に—
- 4) 11:45～12:30 杵淵文夫（東北学院大学） 司会：村上亮（福山大学）
世紀転換期オーストリア農業利害と「中欧保護協定」

8. 現代史部会1

会場:研究講義棟 107 教室

- 1) 09:00～09:45 北川涼太（広島大学） 司会：薩摩真介（立命館大学）
20世紀初頭のイギリス海軍改革と技術者の位置づけ
- 2) 09:55～10:40 岡本勇貴（東京大学） 司会：熊野直樹（九州大学）
ヴァイマル期ドイツにおける借換え問題をめぐる農業者利益—レンテンバンク・クレジットアンシ
ュタルトに注目して
- 3) 10:50～11:35 安齋篤人（東京大学） 司会：野村眞理（金沢大学）
戦間期東ガリツィアにおけるユダヤ人の農業経営：ユダヤ系団体の資金援助とユダヤ農業の「民族化」
をめぐって
- 4) 11:45～12:30 松本祐生子（北海道大学） 司会：舘葉月（慶應義塾大学）
ソ連の都市裁判からみる独ソ戦

9. 現代史部会2

会場:研究講義棟 108 教室

- 1) 09:00～09:45 川浦佐知子（南山大学） 司会：佐藤円（大妻女子大学）
合衆国先住民の主権と水利権請求：セイリッシュ・クートナイ連合の水利権交渉の検討
- 2) 09:55～10:40 小南有紀（慶應義塾大学） 司会：板橋拓己（東京大学）
「新冷戦」期の英米関係におけるイギリス外務省の役割、1979-1983年
- 3) 10:50～11:35 藤原星汰（ミュンスター大学） 司会：伊豆田俊輔（獨協大学）
ホーネッカー期の東ドイツにおける住民参加の実態分析—カール・マルクス・シュタット県を事例と
して
- 4) 11:45～12:30 富岡昇平（東京大学） 司会：中田潤（茨城大学）
1980年代東ドイツにおける環境問題と地方政治の動揺—ライプツィヒ県メルビス・ゲマインデを対
象に—